

(別紙)

様式第1号(第5条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	令和元年度 第4回美幌町まち・ひと・しごと創生推進委員会
開 催 日 時	令和2年2月14日(金) 14時30分 開会 16時15分 閉会
開 催 場 所	しゃきっとプラザ 会議室2
出 席 者 氏 名	【会議委員】 横山委員、山野寺委員、信太委員、川上委員、村田委員、青砥委員 井上委員
欠 席 者 氏 名	小寺委員、鎌田委員、水島委員
事務局職員職氏名	小室総務部長、後藤政策主幹、中村政策担当主査
議 題	1 第2期 美幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)について 2 その他
会議の公開又は 非公開の別	公開
非 公 開 の 理 由 (会議を非公開とした場合)	—
傍 聴 人 の 数 (会議を公開した場合)	0名
会 議 資 料 の 名 称	・第2期美幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)フレーム ・第2期美幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI ・第2期美幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業費一覧 ・各施策・事業所における地方創生に関する取組 (美幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略施策区分ベース)
会 議 録 の 作 成 方 針	<input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した全部記録
	<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録
	<input type="checkbox"/> 要点記録

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	<p>次第1 開会</p> <p>それでは定刻となりましたので、ただ今より令和元年度第4回目美幌町まち・ひと・しごと創生推進委員会を開催いたします。</p> <p>なお本日、水島副会長、小寺委員、鎌田委員から事前に欠席のご連絡をいただいております。</p> <p>それでは、早速2番目の次第に入りたいと思います。内容につきましては、前回会議でそれぞれ皆さんから貴重なご意見をいただいたものを基に事務局で案を作成したものです。自分も事前に確認させていただきましたが、非常にわかり易い形で資料がまとめられていると思います。詳細については、後ほど事務局から説明させていただきたいと思いますので、本日もどうぞよろしく願いいたします。</p> <p>では、第2期美幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）の全般的な事項について、事務局より説明をお願いします。</p>
横山会長	<p>次第2 第2期 美幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について （資料に基づき事務局より内容説明）</p> <p>ありがとうございます。変更点含めて、計画の全体的な部分について説明いただきました。説明内容について、委員の皆さまから質問等ございましたらよろしく願いします。</p> <p>（一同質問なし）</p>
横山会長	<p>それでは引き続き、基本目標1について、事務局より説明をお願いします。</p> <p>（資料に基づき事務局より内容説明）</p>
横山会長	<p>1点確認させてください。2015年の生産年齢人口は、11,734人で、町内で従業されている従業員が、町民と町外者を合わせて9,773人ですよね。一方、給与収入が200万円超の人数が5,600人程度で示されており、この差が給与収入200万円以下という考えでよろしいでしょうか。</p>
中村政策担当主査	<p>おっしゃられるとおりこの差が、200万円以下ということです。</p>
村田委員	<p>数値目標の200万円を超える給与収入者数、これは初めて見たんですけれども、200万円以下の人が4,000人程度いるということでしょうか。</p>
中村政策担当主査	<p>給与収入者数は総数で9,000人程度おります。200万円を超える給与収入者数は課税の公表されている調査資料から、従業員数9,773人は国勢調査からとなっており、統計値の取り方に違いはあります。国勢調査の従業員が給与収入者数よりも若干多いと思われるので、個人事業主が含まれている可能性もあると思います。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	<p>個人事業主は、給与は発生しないため、カウントはされないと思います。</p>
村田委員	<p>かなりの数、割合が200万円以下という事で、生活保護になる方が相当数いらっしゃるという事になり、数値が正しいのであれば、目標数値の5,600人が少ないという事になるのでないでしょうか。美幌町の経済を考えたときに、お金を出す企業も大変なのかもしれませんが、美幌町全体として見れば、こういう状況では非常に厳しいと感じます。</p>
中村政策担当主査	<p>まず、従業員数9,773人全てが生産年齢人口の内数ではありません。65歳以上で年金収入がありながら、給与収入もある方は相当いらっしゃいますのでデータ上、一致はしないと思います。また、税や保険の扶養の兼ね合いから収入を自ら抑えている方も相当おりますので、単純に割合が低いということにはならないと思います。</p> <p>また、統計値上の人口の取り方と住民基本台帳の人口の取り方は異なります。住民基本台帳の人口については、町の戸籍年金担当で把握しておりますが、統計値上の人口については、定住人口となるので、例えば18歳から22歳の間に、住民票を美幌町に置いたまま町外に進学する場合は統計上の数値に差が発生します。</p>
横山会長	<p>人口の2040年の人口数値について、出すところは国の機関含めて何か所かあると思うのですが、数値の差異はないという解釈でよろしいでしょうか。別件の会議で、1回目と2回目の会議で示された人口数値に差異があり、内容として調査数値の取り方に違いがあったため、資料数値にも差異があったということが、北見市の会議でありました。その数値の出し方によって、この11,941人が下手すれば、どこかの数字では、12,000という数字もあり得る事も考えられるのかなと思うんですけども、その辺の精査というか、どの数字が一番正しいかわかりませんが、その辺を調整する必要性があるのではないかなと思うんですよね。</p>
中村政策担当主査	<p>美幌町としての数値は、11,941人と14,500人の2つしか出しておりません。特段対策を打たなかった場合に社人研というところが、現状の出生率等により人口推計したもので、11,941人というのを出しております。これに対策を打つことで、14,500人まで引き上げるというのが、今回の計画になっております。</p>
横山会長	<p>北見市自立圏の会議で、北見、美幌、津別、置戸、訓子府でつくっている自立圏資料では、先ほどのとおり人口に差が出ているんですよね。美幌町の数字は良しとしても、北見市の自立圏協議会の中で、人口推計の誤差が資料によって出てきてしまうと、辻褄が合わないような事業展開になっても困るかなと思う部分もあるので、その辺の整理をしていたらとありがたいと思います。</p>
後藤政策主幹	<p>1期目もそうですが、社人研の数値を基に委託をかけて策定しておりますので、美幌町としてはこれだけになります。</p>
中村政策担当主査	<p>可能性として、美幌町は変更しておりませんが、1期戦略策定時に多少希望的観測で人口推計をしていたとすると、2期戦略策定の時に美幌</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	<p>町は変えていませんが、目標人口を変えざるを得ない自治体があるという話は聞いております。もしかすると1市4町の中で1期戦略時から目標値を変えている自治体があったかもしれませんが、そこは確認させていただきます。</p>
横山会長	<p>資料3の中身についてですが、先日たまたま農協の組合長のアスパラ等の高収益作物の部分の挨拶で一部聞いた記憶があるのですが、この農業推進事務のアスパラ等の高収益の部分とみらい農業センターの冬姫等の高収益の部分について、具体的に戸数を増やすという話なのか、1件あたりの生産量を増やすという方法なのか、その辺の中身について確認をお願いします。冬姫については、今まで6件だったのが1件減って5件になったという状況の中、5件の生産量を増やすのか、5件を例えば戸数として7件へ増やすという考えなのか、もし分かればお願いします。</p>
中村政策担当主査	<p>事前に向った話の中では、ニーズ調査を行ったうえで、国の補助制度がある中、農業推進事務で更に町とJAで独自支援をする内容となっております。具体的には、アスパラハウス1棟の初期投資が200万円程度必要となることから、自己負担を軽減することが今回の目的となっております。事前に向った話の中では、季節を少しずらすことにより、今まで作っていただいている方の生産量を増やすという取組と新規の方も一部いらっしゃると聞いております。</p>
横山会長	<p>せっかく高収益がある冬姫について、6件が5件になったことは非常に残念なことなので、件数が増えるということではなく、あくまで5件での収益が上がる仕組みづくりということでしょうか。</p>
山野寺委員	<p>今段階では、生産の基礎となる株をつくっていただいているみらい農業センターの株がおそらく大きく増えることは難しいので、例えば戸数が増えたとしても、そのための追加の株をつくる体制を新たに用意しないと全体量は増えないという事になります。例えば5件増えたとしても株を6件で分けていたものを5件に分けるだけで、生産量としては変わらないと思います。あとはその年の生産量を大きく左右する、天候によって植える株自体の養分が1年半でどのくらい蓄えられたのかということが大きく左右するので、生産量的にはそちらの要因の方が大きいと思います。ですからもともと用意する株は変わらないので、その体制を新たに別な方法で考えない限り、その戸数は5件から増えたとしても元々の株の量は増えないという事です。ただし、それに向けてハウスの助成を始めますので、冬姫と併せて他のアスパラを増やす体制を町と農協で整えているのが現状です。</p>
小室総務部長	<p>予算でお話させていただくと、先ほど説明したとおりハウス1棟をアスパラのために用意するためには、約200万円の資材費がかかるということです。アスパラは初期投資が非常に高いので、なかなか作付に手を出しづらい部分があります。そこで国の補助とJAと町の補助でいたい150万円くらい補助し、農家さんの負担を50万円程度で抑えようと、それくらいの負担であれば初期投資に踏み切るといいうきっかけづくりを新年度予算で用意しております。予算ベースではハウス15棟分を考えておりますが、おそらく手が上がるのは12、13棟分くらいと思うんですけれども、いずれにしてもアスパラは高収益ですので、</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	<p>株の話もちろんありますが、少しでも産地化を図り、美幌のアスパラを売り出して行こうという大きな流れです。</p> <p>美幌といえば冬姫含めてアスパラというイメージが非常に強いので、更に伸ばしていただければありがたいと思います。他、委員の皆さまから意見等ありますか。</p> <p>（一同質問なし）</p>
横山会長	<p>それでは引き続き、基本目標2について、事務局より説明をお願いします。</p> <p>（資料に基づき事務局より内容説明）</p>
村田委員	<p>先ほど美幌町から外に出ているということで、津別は331人というのは多分丸玉などが大きいと思いますが、大空の364人というのはどういった要因でしょうか。</p>
中村政策担当主査	<p>内訳は非常に気になっていて調べようとしたのですが、統計値としては業種まではわかるのではないかとということで、継続して調べようと思っておりますが、現状ではわかりません。例えば、空港は一つの要因かもしれません。</p>
後藤政策主幹	<p>北見市からも706人来ているということですが、会議所で把握している部分はありますか。</p>
横山会長	<p>ほとんどが公務員絡みで、自衛隊と学校の先生だと思います。</p>
中村政策担当主査	<p>美幌駐屯地の隊員数はほとんど変わっていないにもかかわらず、住民税を納めていただいている隊員の数、数年前と比較して100人程度減少している実態はあるので、町外流出の内訳は気になるところです。</p>
横山会長	<p>他には、食品加工でクレードルさんも大きな要因かと思います。</p>
後藤政策主幹	<p>クレードルは交代制という事もあり、作業人数は相当多いと思います。だいたい内部でも今お話あった状況かなと話していたところです。大空町は空港の他、JAとかもいらっしゃるでしょうか。</p>
山野寺委員	<p>JAはほとんどいないと思います。</p>
中村政策担当主査	<p>業種によっては扶養されている方で町外から来られる従業員もいらっしゃると思うので、町外からの従業員全員がターゲットにはならないと思いますが、業種によってターゲットを絞り対策することも必要だと思います。</p>
川上委員	<p>住宅リフォーム促進補助事業については、転出抑制支援という事ですが、今住んでいる方全員を対象とするのでしょうか。</p>
中村政策担当主査	<p>住宅リフォーム、町産材活用事業については、基本的には町外者をタ</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	<p>ターゲットにしているわけではなく、町民をターゲットにしているため、例えば北見市に住んでいる方が、この制度を使って美幌に移住する方も含めている考えです。特にここでの記載は、町外から美幌へ通勤している方や美幌町民の方で北見市や大空町など周辺市町村含めて、住宅取得を検討している方への支援策と考えております。</p>
川上委員	<p>例えば差別化を図る必要はないでしょうか。</p>
中村政策担当主査	<p>こういう形で計画書の整理をすると、おそらくそういう議論になると思います。所得制限なども含めて、当然今後議論として出てくるものと考えております。</p>
後藤政策主幹	<p>想定ですが、自衛隊さんも相当数、北見市ひかり野地区に住宅を建設し通勤している方がいらっしゃるかと考えております。そういう方が美幌町に固定資産を持っていただくための施策は必要になってくるのではないかと考えております。</p>
横山会長	<p>もう一つの要因は、自衛隊の退官後の再就職先の問題も現実的にあります。やはり、美幌町と北見市の企業数を比べると圧倒的に北見市の方が多く、定年後は北見市で働きたいということから、住宅も北見市で持つパターンも現実的にあります。うちも4月に美幌駐屯地の令和6年までの退職予定者約76名いらっしゃるのですが、その方々に対する企業説明会を実施させていただきます。北見市内の企業も数社来ますが、できるだけ定年後は美幌の企業で働いてほしいということで、実施する予定であり、抑制策の一環と考えております。</p> <p>また、住環境による転出抑制支援の町産材の活用促進についてですが、冒頭の説明の中で、認証材の出荷がゼロに近い状況の中で、今後どのように進めて行くのでしょうか。</p>
後藤政策主幹	<p>町有林の認証制度は続いており、今回森林組合がやめただけなので、規模は小さくなりますが、材の確保はできる状況です。山の部分の認証はやめたのですが、加工の資格を森林組合は持っておりますので、引き続き実施する予定です。</p>
横山会長	<p>医療従事者補助金の医療従事者はどこまでの範囲まで入るのでしょうか。</p>
小室総務部長	<p>かなり幅広くなっておりまして、医療技術職の皆さんいらっしゃいますが、歯科衛生士含めて非常に広く対象にしております。</p>
川上委員	<p>介護事業者は入るのでしょうか。</p>
小室総務部長	<p>介護事業者については、別の事業で町として助成しております。利用は結構多い状況になっております。</p>
中村政策担当主査	<p>医療従事者補助金については、2段階になっておりまして、町内町外問わず、就業支援補助として1年あたり25万円として3年間支援し、更に住宅準備補助として町外から引っ越してきた方に、引っ越し費用として単年で20万円の支援という事で、この部分に該当する方が移住施</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	策の指標としてカウントしております。
横山会長	介護の制度はいつから行われているのでしょうか。それには引越し費用も含まれるのでしょうか。
小室総務部長	介護職については人材確保が難しい面があり、介護事業所の皆さんにどういった支援・きっかけをつくれれば人材確保につながるかということを探したところ、初任者研修費用、資格取得に一部助成して欲しいというニーズがあったことから、今実施しているのは、初任者研修について8万円の助成、資格取得する場合は13万円の助成と2本立てとしております。ここ2年くらいやっておりますので、更なるニーズがあるのかという点については、現在はありませんが、更に追加助成となれば、相談・協議していくことになると思います。
横山会長	恵和福祉会から頼まれた経過がありまして、以前津別町が引越し費用の助成があり、津別を選択した経過があります。せっかく医療従事者に対する補助があり、引越しの部分も対象となるのであれば、介護の方にもという思いはあります。色々な会合でニーズを確認させていただき、検討いただければと思いますし、支店長もおそらく同じことを聞こうと思っていたと思います。
小室総務部長	例えば医療従事者もですが、子育て支援策も含めて、各市町村の奪い合いという言葉が適切ではないと思いますが、そういう印象が強いです。本来は国がしっかり考えて施策を打つべき面もあろうかと思うんですが、そうも言っていない場面もあり、結果市町村によって奪い合いの状況になっていると思います。非常に悩ましいです。
川上委員	介護医療事業者とすることはできないでしょうか。
小室総務部長	十分検討すべき課題と承知しておりますので、今後検討させていただきます。
中村政策担当主査	当日配付となった資料3は、来年度の予算について例えば施策1農林業では2億4,500万円の予算投資が、うち一般財源とは町税がどの程度投資されているかということで、ここでは1,900万円となっております。施策毎に集約されておりますが、一部再掲載事業については、予算上の区分が不可能だったため、金額が重複していることから正確な数字ではありませんが、限られた予算をどこに使うのかということを議論しなければなりません。更に一般財源が入っていないところも、一部借金により財源措置されている部分もあり、それら含めて皆さんと議論させていただきたいと思います。
横山会長	他、委員の皆さまから意見等ありますか。 (一同質問なし)
横山会長	それでは引き続き、基本目標3について、事務局より説明をお願いします。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
<p>村田委員</p> <p>中村政策担当主査</p> <p>横山会長</p> <p>中村政策担当主査</p> <p>後藤政策主幹</p> <p>井上委員</p> <p>小室総務部長</p>	<p>(資料に基づき事務局より内容説明)</p> <p>国の出生率の公表が3月ということで、全国的な数字を見たときに1期の間でぐっと伸びた自治体があれば、どのような取り組みによって伸ばしたのかというの聞いてもらおうようにしたら良いかと思います。</p> <p>前回も議論ありました美幌高校の入学者の件で、人口ビジョンの概略の中で通勤通学者数について、2015年の国勢調査では、全体715人に対して、町内通学者437人という事で、61%が美幌町に残って通学しています。教育委員会で把握している数字で、統計値と数値の取り方に若干違いはありますが最新情報では、全体515人に対して、町内通学者206人という事で、町内通学率は40.7%となっております。今年は更に落ちるのではないかとされており、北見の高校と美幌高校の間口の関係もありますが、絶対数が減りつつ、町内に残る率も落ちているという厳しい現状にあります。</p> <p>先日の発表では、北見北斗、柏陽は、定員を相当オーバーしているということで、倍率が1.1や1.2という状況の中、いかに志願変更して美幌高校に来てもらうことを期待するしかない状況だと思います。</p> <p>先程の予算資料を見ると、教育振興事務で1,000万円を超える予算措置が美幌高校への支援策としてされております。</p> <p>前回、井上委員から部活動の充実というご指摘をいただきました。美幌はスポーツが盛んで、小学生で54%が少年団活動を行っており、中学生を見ると更にその影響で6割を超える生徒が運動部に入っています。美中も北中もブラバンもやっておりますので、そこからいっても6割という割合は多いと思いますし、全体的にも全道大会に行くなどそれなりに美幌の部活動も強いです。勉強もそうですし、部活動も充実したところというのは、あるのではないのでしょうか。</p> <p>それはすごく子供たちの中では大きいところです。きっと人数が少ないと先生の人数も少なくなり、できる部活動の数も減るという悪循環だと思うんです。例えば、公立高校の中で外部コーチができるという範囲があり、今まで少年団活動してきた流れで、部活動もできるような状態だったら、もうちょっと数値的にも増えるんじゃないかと。今だったら好んでいくというか、美幌高校でいいかという人が正直多いです。今年は商業高校が増えてて、もしかすると農業と一緒に商業系の科も入れると、人数的にも北見の方からも美幌に多少来るのではないかと。今、商業科は網走と北見がありますが、間なので美幌にも他のところから入って来れるような形でというのであれば、科を増やすとか。今の状態ですと、北見の高校か部活の強い高校に行くという選び方が多いかなと思います。</p> <p>農業科に入学する保護者の負担を軽くするという事で、10万円の修学助成を始めたのですが、今まさにお話あったとおりなかなか効果が出ていないというのがあって、もちろん農業科も大切ですが普通科も大切です。町内の中学生は毎年150人程度卒業し、皆入ってくれば4クラスですから問題ありませんが、現状は半分も入っておらず4割くらい</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
井上委員	<p>まで落ち込んでいます。後は皆、北見の高校へ行ってしまう。無理やり行かせるわけにはいきませんので、やはり選んでもらえる高校にならなければならないということで、新年度から農業科に限っていたのを普通科の生徒保護者にも就学助成をすることになりました。まず入ってくださいと。そして高校でしっかり魅力を高める高校づくりを行い、そこでしっかり学んで欲しいと。そういう流れをつくり、何とか少しでも町外から来てもらう事もそうですが、地元でしっかり勉強しようと思ってもらえるように取り組んでいくことが大切と話しているところです。なかなかこれをやれば良いというものもないところで、皆で知恵を絞っているところです。</p> <p>美幌高校に通っている生徒さんは、どういう風に考え高校生活を送っているのかなと。すごくいい高校だと思っているのであれば、もっと下の世代に発信することも直接的には良いかもしれませんが。皆が北見に行くという流れが、なんとなくできてしまっているの、仕方なく行くしかない、落ちたから行くしかないとか思えない子が多いから。もっと子供たち自身が分かる様なものが必要かと。美幌高校の学校祭をやっているのはわかりますが、案内は全町的にチラシなどで知らされたりするけれども、だからと言ってわからないので行こうともならないし、もし町ぐるみで高校というのであれば、具体的に子供たちが行きたいとなるよう、今通っている子供たちも充実できているのかなということも含め、どういう風にしていけばよいのかなと。きっと通っている子供たちの方が分かると思うんですね。そういう意見も下の子どもたちに伝われば違うのかなと。自分は美幌高校でしたが、当時北見の高校に行こうと思えば行けましたが、あえて美幌高校を選んで行き、とても楽しかったです。今の子は、美幌高校はとりあえずいやだからという事を言っていて、なんでそんな感じになるのかわからないんですね。かといって自分の子も美幌高校には行かないんですが。学力とか自分のやりたいことができないと言われちゃうと強く勧められないし、本人の意思を無理やり地元に行きなさいとも言えないですし、きっと補助金とかも一時的には嬉しいかもしれませんが、行ったところで美幌町に根付く人材になるのかはちょっとわからないですね。先ほどの介護の件もそうですが、資格取得するのにお金を貰っても、とりあえず資格を取っておこうという人も主婦にはおりますので、もし出してもらえのなら、取った後に1年くらい美幌町で働いてくださいという様なお礼奉公制度の様なものがあると少し増えるのかなと。介護職員も給料が少なくて大変とも聞いておりますし、なかなか仕事も定着しないけれども、できる仕事が介護だけなので、とりあえず資格だけ取っておこうという方はけっこういるので、取った後に美幌町で働いてもらえるというところにお金がうまく支援ができれば、もう少し介護職員も増えるのかなと。あと利用者も行くたびに介護職員も変わっているから、不安であることも聞いてます。美幌町の介護に関わる人たちも美幌町で働きたいと思える環境だと良いと思います。</p>
横山会長	<p>情報としてお聞きしたいのですが、藤幼稚園は今回新築されて、預かり保育を3年前からやっている状況の中で、大谷幼稚園も一時そういう話も出ていたと思うんですが、どうなっているかという部分はいかがでしょうか。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
小室総務部長	大谷幼稚園も今まさに国と園の方で協議をし、最終段階に来ております。国に認めてもらえれば、新年度に園舎の一部を改修することになるかと思っておりますので、そうなれば来年の春からは若干受け入れ人数が増え、今は3歳から5歳ですが、0歳から5歳までとなり、20から30人程度受け入れ人数が増える見通しです。いわゆる今までの幼稚園から認定こども園に変わろうとしている状況です。
横山会長	他、委員の皆さまから意見等ありますか。 (一同質問なし)
横山会長	それでは引き続き、基本目標4について、事務局より説明をお願いします。 (資料に基づき事務局より内容説明)
村田委員	美幌高校生の町内企業就職者数の目標20名についてですが、企業側が20名程度しか受入できないということなのか、高校の卒業生がだいたいその程度しかいないという事なののでしょうか。
中村政策担当主査	入学者が年90名程度で、そのうち約5割から6割進学されるので、就職は40名程度です。そのうち約半数の20名を町内企業で就職確保したいという事です。この中には駐屯地も含んでおりますし、JAや信金や役場も含まれております。公務員で行くと警察官などどうしても美幌町内で確保できるかという現実的に難しい部分もあり、パーセントで表現するかどうかという議論もありましたが、現状26人雇用しているところ、生徒数が減少している中ではありますが、20名は確保したいという考えです。町内就職率を100%としたいところですが、現状ですと半数は確保したいということです。
村田委員	企業としては20名程度の雇用の枠は十分あるということですね。
中村政策担当主査	そうなります。
横山会長	他、委員の皆さまから意見等ありますか。 (一同質問なし)
横山会長	それではここまで基本目標1から4まで全体案についての説明をいただきました。改めて振り返り、全体を通して何かありますか。
川上委員	美幌高校の教員は道の管轄で赴任するスタイルで、町で選ぶことはできないのでしょうか。例えば特徴ある先生をなど。
横山会長	道の人事になるかと思いますが、正直政治の世界もあると思います。
小室総務部長	例えば野球などでという引き合いは北海道内にあります。
中村政策担当主査	単独で例えば部活に特化した先生を町で雇用するケースなどは公立高

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	<p>校ではあると思います。</p> <p>先日道新に美幌の中学生のラグビーで、オール北海道に美幌ラグビー少年団から4人選ばれたという記事がありました。今、美幌高校のラグビーの監督も当時花園へ行った橋本先生の教え子かなと。ラグビーは美幌高校、今後間違いなく強くなると思います。少年団からまっすぐ美幌高校へ行って、一気に花園となるとまたイメージが違ってくると思います。</p> <p>その他として事務局から何かありましたら説明をお願いします。</p>
中村政策担当主査	<p>提案させていただいた案で進めさせていただけるという事になりましたら、来週水曜日から30日間パブリックコメントという事で、町民に対して意見募集を行います。パブリックコメントで特段変更などなければ、3月末までにこの2期戦略の総合戦略を完成させていただくスケジュールとなります。なお、人口ビジョンについては1章で説明しておりますが、統計値の置き換えにより修正しますので、完成次第委員の皆さまには3月末までに完成版として配付させていただきたいと思います。</p>
村田委員	<p>予算資料の内数で丸がついているのはどういうことでしょうか。</p>
中村政策担当主査	<p>例えば1番目の事業である農業推進事務については、全体事業費と一般財源である町税の金額を記載したうえで、内数に丸がついています。事業目的であるアスパラ振興以外の事業費もここに含まれているので、アスパラ振興事業はこの全体事業費の内数であることを示しております。また、丸のついていない例えば農業振興施設等整備事業については、事業概要に記載されているスマート農業全てが全体事業で表示されているということを表しています。町の予算はどうしても事業を特化した予算と全般予算に分かれており、農業推進事務はまさに複数の事務が混在した内容となっており、全体事業費の内数となっているということです。</p>
横山会長	<p>他に意見等なければ、この後約1か月間パブリックコメントを実施し、何もなければ3月下旬までには人口ビジョン含めて、皆さんにお示しさせていただくという事です。仮にパブリックコメントで意見があった場合は皆さんにこういった形で周知されますか。</p>
中村政策担当主査	<p>大幅な修正は想定しておりませんが、仮にあった場合は再度委員会にお諮りさせていただいたうえで進めさせていただきます。特段何もなければ書面で報告させていただきます。</p>
横山会長	<p>今後のスケジュールは説明のとおりとなりますので、何かありましたらまた皆さんにご協力を賜りたいと思います。</p>
後藤政策主幹	<p>今年度2期完成した後ですが、考え方としては人口14,500人を目指していく中で、この掲載されているものが全てではないと考えます。今回戦略をより見やすくすることに重点的に考えたのは、抜け落ちている部分などが見えてくるはずなので、2年目以降に向けて皆様からご意見をいただきたいと思いますので、そういった視点で戦略を見ていただいて、今後議論、検討させていただきたいと思います。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	もしそういった意見などありましたら、直接事務局へということでもよろしいでしょうか。
後藤政策主幹	随時意見はいただきたいと思います。また来年度住民満足度調査を実施したいと考えております。やはり町民ニーズを施策に取り込む必要がありますし、課題を見つけて行きたいと考えております。
横山会長	<p>長時間でありましたが、見やすい資料をつくっていただき、ご説明いただきましたので、皆さんも大いに理解できたのではないのでしょうか。主幹からもありましたが、何かありましたら事務局に申し送りいただければと思いますし、引き続きお声をかけさせていただく場面もあろうかと思っておりますので、その際はまたご協力を賜りたいと思います。本日はありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">了</p>